

日本気候リーダーズ・ パートナーシップ(Japan-CLP) シンポジウム 2009

2009年12月3日(木) 14:00 ~ 17:00

グランドプリンス新高輪 国際館パミール 白雲の間

主催: 日本気候リーダーズ・パートナーシップ(Japan-CLP)

プログラム

-
- 14:00-14:10 **開会の挨拶**
SAPジャパン株式会社 チーフオペレーティングオフィサー
デイビッド クラウチ氏
-
- 14:10-14:40 **日本気候リーダーズ・パートナーシップ(Japan-CLP)と提言のご紹介**
イオン株式会社 執行役 グループ環境最高責任者 土谷 美津子氏
-
- 14:40-15:10 **講演「気候変動問題と企業の役割」**
政策研究大学院大学 教授 黒川 清氏
-
- 15:10-15:20 休憩
-
- 15:20-16:35 **パネルディスカッション**
テーマ①気候変動問題に対する企業の戦略とリーダーシップの在り方
テーマ②Japan-CLPの提言(ドラフト)へのインプット
- パネリスト: 浅岡 美恵氏 (気候ネットワーク代表)
金井 誠氏 (株式会社大林組 専務取締役)
朽網 道德氏 (富士通株式会社環境本部 環境企画統括部長)
黒川 清氏 (政策研究大学院大学 教授)
近藤 洋介氏 (経済産業大臣政務官 衆議院議員)
永野 毅氏 (東京海上日動火災保険株式会社 常務取締役)
福山 哲郎氏 (外務副大臣 参議院議員)
- モデレーター: 則武 祐二氏(株式会社リコー 社会環境本部 審議役)
- (50音順)
-
- 16:35-16:50 **ご挨拶「気候変動問題と産業界のリーダーシップ:Japan-CLPへの期待」**
環境大臣 衆議院議員 小沢 鋭仁氏
-
- 16:50-17:00 **閉会の挨拶**
株式会社三菱東京UFJ銀行 常務取締役 小山田 隆 氏
-

パネリストの紹介

浅岡 美恵

気候ネットワーク代表、弁護士

平成8年12月、「気候ネットワーク」の前身「気候フォーラム」を立ち上げ、事務局長に就任。現在は、環境省の諮問機関中央環境審議会委員、京都市環境審議会委員、京都府環境審議会委員、(特)京都地球温暖化防止府民会議副委員長、京都府地球温暖化防止センター運営委員長等を務める。

近藤 洋介

経済産業大臣政務官 衆議院議員

慶應義塾大学法学部卒業後、日本経済新聞社に入社。産業部、経済部を経て、平成12年民主党山形県第二区総支部長に就任、平成17年民主党山形県総支部連合会会長に就任。平成15年衆議院議員初当選を遂げ、現在三期目に至る。平成21年9月より現職。

金井 誠

株式会社大林組専務取締役

昭和48年に株式会社大林組入社後、東京本社土木事業本部東京工事第一部長、同事業部副事業部長を歴任。平成17年に執行役員に就任、平成19年に常務取締役就任。平成21年より現職。

永野 毅

東京海上日動火災保険株式会社常務取締役

昭和50年に東京海上火災保険株式会社入社後、商品・サービス開発部長、執行役員名古屋営業第三部長を歴任。平成18年に常務執行役員に就任。平成20年より現職。

朽網 道徳

富士通株式会社環境本部環境企画統括部長

現在、富士通グループ全体の環境戦略の策定、環境マネジメントシステムの運営、環境技術の開発推進、グリーンITの企画・推進を担当。電子情報通信学会会員、日本LCA学会会員、平成20年4月からグリーンIT推進協議会調査分析委員会委員長。工学博士(東北大学)。

則武 祐二

株式会社リコー社会環境本部審議役

リコーグループの化学物質管理、製品環境評価、LCA、環境負荷に関する情報管理システム構築等、環境経営全般に関する業務を行い、平成21年4月から労働衛生を含む環境マネジメントに関する審議役に就任。社外では、アーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)運営委員会副委員長などを努めている。

黒川 清

政策研究大学院大学教授

東京大学名誉教授、WHOコミッショナー、特定非営利法人日本医療政策機構代表理事、Senior Scientist of the Earth Institute of Columbia Universityなどの委員、役員も務める。内閣や各省庁での公的委員会委員を多数。内閣特別顧問、地球温暖化問題懇談会メンバー、総合科学技術会議議員、文部科学大臣科学官、厚生科学審議会、産業構造審議会委員など歴任。平成18年より現職。

福山 哲郎

外務副大臣 参議院議員

同志社大学法学部卒業、京都大学大学院法学研究科修士課程修了。京都造形芸術大学客員教授。平成10年参議院京都選挙区で立候補して初当選。現在二期目。参議院環境委員長、民主党政調会長代理、民主党参議院政審会長を歴任。党地球温暖化対策本部事務総長を務める等、環境問題をライフワークとする。